

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 50 回） 議事概要（案）

1 日 時 平成 30 年 9 月 26 日（水）13:00～14:00

2 場 所 経済産業省別館 104 号会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査）、足立 朋子、市川 武男、小川 博世、川口 さち子、
小泉 善子、阪田 史郎、佐藤 孝平、橋本 明、松永 彰

[関係者]

今田（KDDI）、菅田（KDDI）、坂本（NTT ドコモ）、坂田（ソフトバンク）、
本多（エリクソン・ジャパン）、石川（日立）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中里、西室、有村、三宅

4 配 付 資 料

資料地-50-1 地上業務委員会（第 49 回）議事要旨（案）

資料地-50-2 ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合報告書（案）

資料地-50-3 ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合への日本寄与文書（案）

資料地-50-4 ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合への対処方針（案）

参考資料 1 ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合の開催案内

参考資料 2 ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合の日本代表団一覧

参考資料 3 地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第 49 回）議事要旨について

【資料地-50-1】

地上業務委員会（第 49 回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

（2） ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合の報告について

【資料地-50-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合への日本寄与文書（案）について

【資料地-50-3-1】

総務省国際政策課 横山氏から、「作業文書 ITU-R M.[MSS&IMT-ADVANCED SHARING]の検討 異なる国における 1980-2010MHz 及び 2170-2200MHz 帯の地上系及び衛星系 IMT 間の共存及び両立性の検討」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 今回よりreportについては全会一致の合意が取れなくても承認が条件付で可能となるよう規約が変更された。日本としてreportの作成が好ましくないのであれば、次回会合において議論が不十分なままSGに上程されようとした場合、上程すること自体に反対した方が良い。

横山氏 SGに上程される前に対応することを念頭に置きつつ対処する。
三瓶主査 report中の解析に誤りが含まれるため、再検討の必要性を述べていると理解しているが、修正を行うと不都合が生じるため承認できないとの立場ではないのか。

横山氏 一定の面積においていくつ基地局が存在するかを計算しているが、この計算の誤りを訂正することで地上系基地局から衛星に対する干渉値が10dBほど下がり、衛星側が基地局からの干渉量を過大に評価していることが明らかとなる。

三瓶主査 SGに上程されないためには、修正の必要がないとの立場を明示すべきである。また、残りの回数で間に合うのかといったリスクも存在する。

横山氏 完成度が高まらなければ引き続き反対することも検討する。

【資料地-50-3-2】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT.EXPERIENCE]へ向けた作業文書作成作業の継続についての提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 今までに記載された内容は殆ど解決されたとの記述があるが、残っている課題はあるのか。

菅田氏 全て解決されており、課題は残っていない。

【資料地-50-3-3】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 M.[IMT.MTC]の改訂 狭帯域及び広帯域のMTCのための地上系 IMT の使用」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-50-3-4】

エリクソン・ジャパン本多氏から、「IMT-Evaluation Workshop に関するプログラム案の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

中里室長 第32回会合は来年の7月とのことだが、来年2月の会合の位置づけは。

石川構成員 以前より来年7月の第32回会合が最終回であると述べてきたので、混乱を防ぐため来年2月の会合は第31回bis会合としている。

【資料地-50-3-5】

NTT ドコモ坂本氏から、「勧告 M.1036-5 の改訂草案に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 option AまたはBへの支持とあるが、どちらでも構わないということか。

坂本氏 実際はBが最も好ましいが、AとB以外では全く考慮されていないことを危惧し、Aでも可としている。

【資料地-50-3-6】

KDDI 今田氏から、「新報告草案 M.[IMT&BSS COMPATIBILITY]に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-50-3-7】

ソフトバンク坂田氏から、「改訂勧告草案 ITU-R M.1456 に向けた作業文書の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 mobile HAPSに関する日本の提案に対し、M.1456の改訂以外にも合意された内容があったと記憶しているが、そちらの見直しについては依然として議論中であるのか。

坂田氏 M.1631については日本から明確に作業を改訂するとは述べておらず、作業計画に含まれていないため手をつけてない。

橋本構成員 Attachment 2のWP3K, 3Mへのリエゾン案の中で、sharing and compatibility studiesがM.1456とM.1641の中で行われていると述べられているが、M.1456にはその記載はない。将来的なM.1456の検討のために、M.1641における伝播モデルを見直そうとしていると理解しているが、そうでなければこの部分の書き方は修正する必要がある。

坂田氏 伝播モデルについては、M.1641にて明確に説明されている。この経緯をWP3K, 3Mへリエゾンステートメントではっきり言及できるよう対処する。

橋本構成員 M.1641の改訂が主眼に置かれているものと理解している。うまく表現を使い分けてもらいたい。

【資料地-50-3-8】

KDDI 菅田氏から、「回章 5/LCCE/59 への 2 つの追補版導入のための提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-50-3-9】

日立製作所 石川氏から、「IMT-2020/VVV 文書の作業文書及び作業計画に関する提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-50-3-10】

エリクソン・ジャパン本多氏から、「IMT-2020 評価プロセスにおける考慮点」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(4) ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合への対処方針案について

【資料地-50-4】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第 31 回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、近日中に事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上